

平成29年度 認知症セミナー
平成29年11月22日(水)
於 ピュアリティまきび

駒ヶ根市における 「認知症初期集中支援チーム」 の立ち上げとその後



駒ヶ岳ロープウェイ

駒ヶ根市 地域保健課
介護予防係 浜 達哉



千畳敷カール



出典：駒ヶ根観光協会ライブラリー

駒ヶ根市の概要 (2017年4月1日現在)

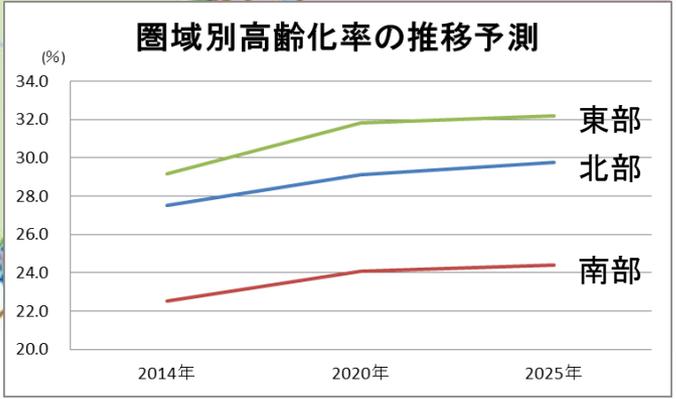
【人口】 32,483人(高齢者人口 9,803人)

【高齢化率】 30.1%

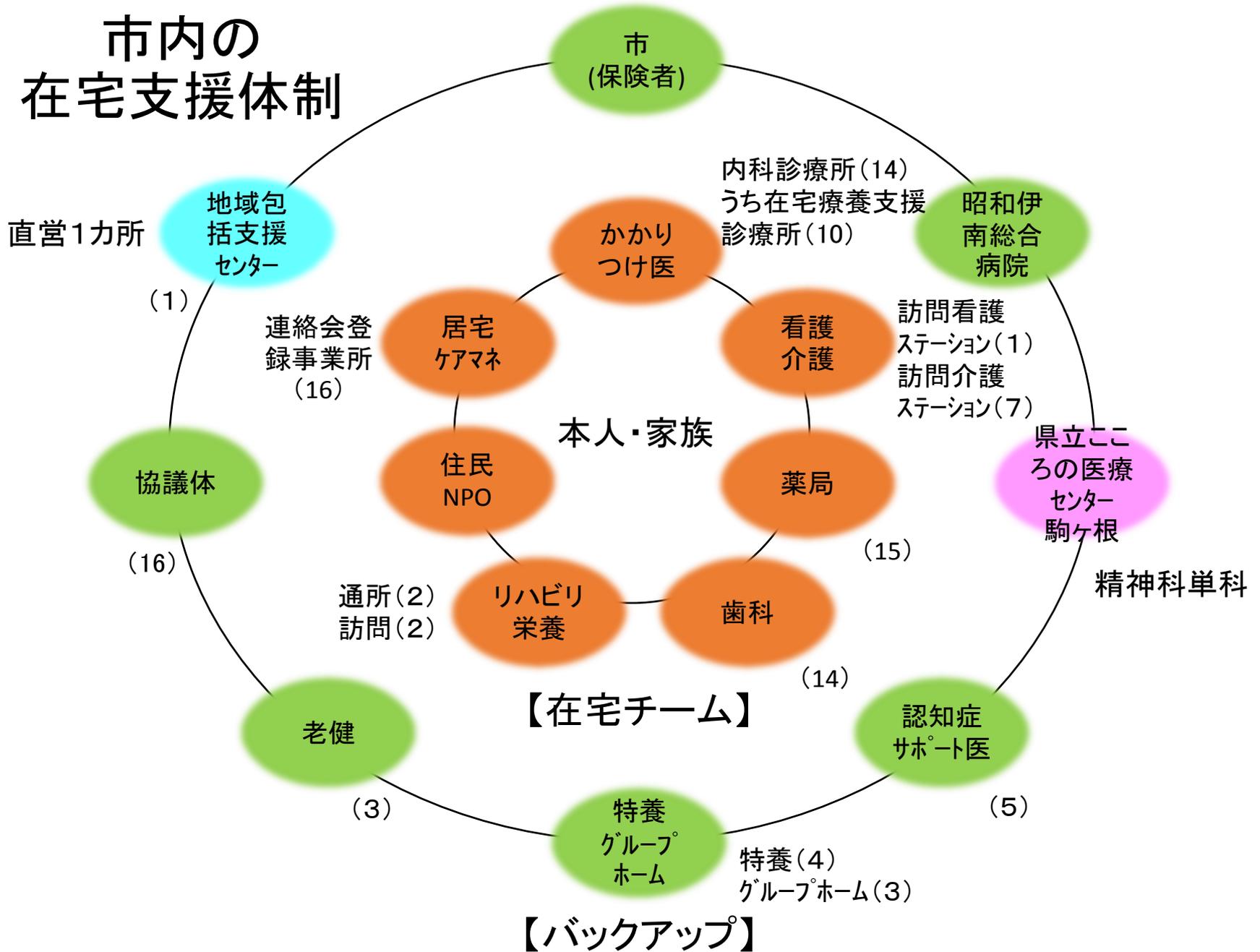
【65歳以上の要介護認定者数】 1,404人
(認定率14.2%)

【地域包括支援センター】 直営1箇所

地域包括支援センターは直営で1箇所

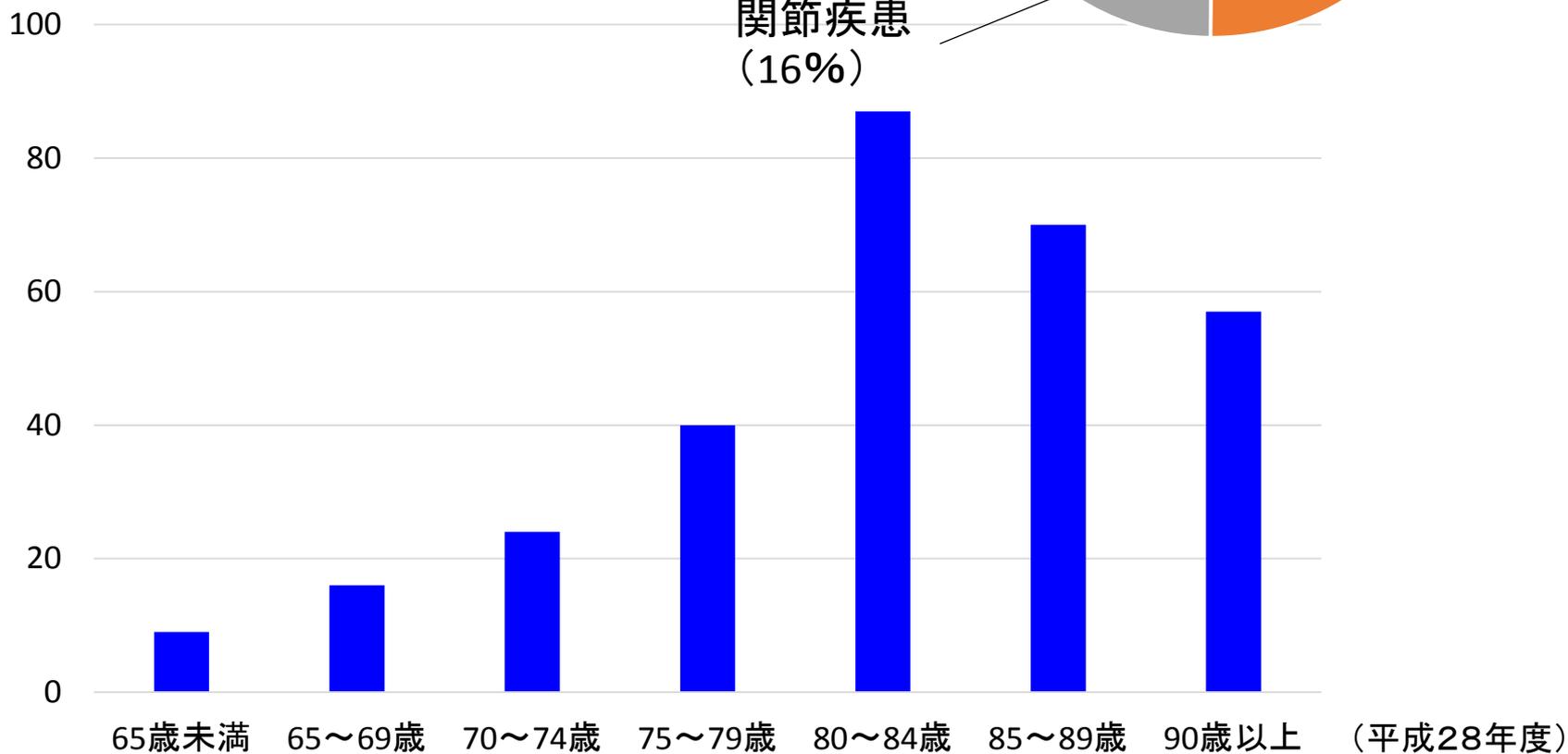


市内の 在宅支援体制



年代別新規要介護認定者数と原因疾患

(平成28年度 駒ヶ根の場合)



その他
(24%)

転倒・骨折
(10%)

関節疾患
(16%)

認知症
(30%)

脳血管疾患
(20%)

駒ヶ根市認知症介護ビジョン 5つの柱 (2010年～)

認知症になっても安心して暮らせるまちづくり

地域を支える医療・介護の充実

- ①認知症の相談や困りごとに対応する環境づくり
- ②保健・医療・介護の連携、ネットワークの強化
- ③認知症ケアの専門性向上

<ビジョンの具体化>

「もの忘れ相談票」を使った医療機関・地域包括支援センターとの連携

県立こころの医療センター駒ヶ根との連携

住民による見守りや支え合いの充実

- ④認知症への理解を深める
- ⑤人とのつながり、予防・見守り・支援の輪

公益社団法人「認知症の人と家族の会」長野県支部駒ヶ根地区の立ち上げ

ビジョン策定までの動き



医師による医療連携検討会(医師部会)



医療・介護・福祉関係者等による意見交換会

- ①「この地域」で支えていこう！
- ②今ある「資源・人材」をもっと活かそう！
- ③かかりつけ医のサポートを強化しよう！



地区での意見交換会

「気づき」をつなげるしくみ 「もの忘れ相談票」の作成 →伊南4市町村で活用(2012年～)

思い当たる「もの忘れ」

早めにご相談を!!

認知症は誰にでも起こりうる脳の病気です。
65歳以上の10人に1人が認知症とも言われていますが、
早期に診断し、上手に対応していけば、その後の経過や介護の負担も変わってきます。
年のせいと思ったり、受診をためらわずに、早めにご相談ください。

監修/国立長寿医療研究センター 内科総合診療部長 遠藤英俊

ステップ1 思い当たる「もの忘れ」の症状にチェックしてみましょう。



記憶

直前の出来事や話したことを忘れるようになった。

早期発見のポイント



意欲

何となく元気がなくなったり興味や関心を示さなくなった。



実行

今までできていたことができなくなったり、ミスが目立つようになった。



不安

ささいなことで怒ったり不安を抱くようになった。

ステップ2 思い当たる項目が複数ある場合には、裏面の「もの忘れ相談票」に記入してかかりつけ医、または下記の市町村地域包括支援センターまでお気軽にご相談ください。

- 駒ヶ根市: ☎81-6695(直通)、☎83-2443(直通) ■ 中川村: ☎88-6177(直通)
- 飯島町: ☎86-3111(内196・197) ■ 宮田村: ☎84-1255(直通)

受付時間はいずれも平日の午前8:30～午後5:15

もの忘れ相談票

記入日 平成 年 月 日

(フリガナ)					
本人氏名	男・女 (歳)	生年月日	大正 昭和	年 月 日	年 月 日
本人住所	行政区 ()	本人連絡先	() -		
相談者(記入者)	本人との関係 ()	相談者連絡先	() -		

●あてはまる項目すべてに○をつけてください。

本人の生活状況

- 1人暮らし
- 夫婦2人暮らし
- 子や孫、親族と同居
- その他 ()

はじめてご記入される方

思い当たる「もの忘れ」の症状はいつ頃からですか?

平成 年 月頃から

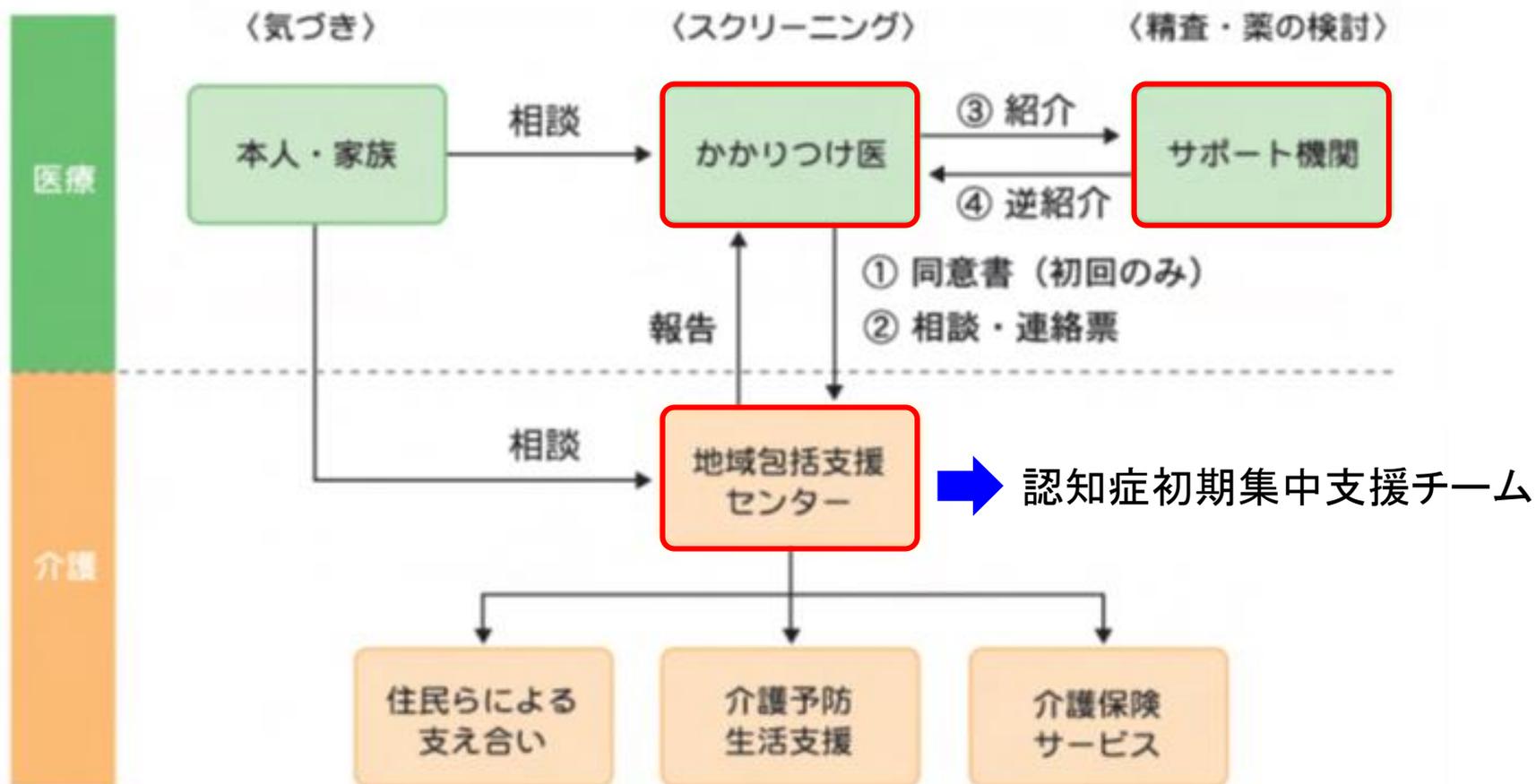
生活上の心配や困りごと

<input type="checkbox"/> 直前の出来事や話したことを忘れるようになった。	<input type="checkbox"/> 自分で電話をかけるのが難しくなった。
<input type="checkbox"/> 何となく元気がなくなったり、興味や関心を示さなくなった。	<input type="checkbox"/> 自分で食事をつくったり、用意するのが難しくなった。
<input type="checkbox"/> ささいなことで怒ったり、不安を抱くようになった。	<input type="checkbox"/> 「物が盗まれた」と言うようになった。
<input type="checkbox"/> 日にちを忘れるようになった。	<input type="checkbox"/> 「見えないものが見えたり、聞こえたりする」と言うようになった。
<input type="checkbox"/> 身だしなみに気がつかなくなった。	<input type="checkbox"/> 家にいても落ち着かず、ウロウロするようになった。
<input type="checkbox"/> 物の置き忘れやしまい忘れが目立つようになった。	<input type="checkbox"/> 家に引きこもることが多くなった。
<input type="checkbox"/> 鍋を焦がしたり、暖房器具の消し忘れなど火の不始末が心配になった。	<input type="checkbox"/> サービスの利用を嫌がるようになった。
<input type="checkbox"/> 薬の飲み忘れが多くなった。	<input type="checkbox"/> 夜中に起き出し、歩き回ったり騒いだりするようになった。
<input type="checkbox"/> ゴミの分別やゴミ出しができなくなった。	<input type="checkbox"/> トイレを失敗するようになった。
<input type="checkbox"/> 同じようなものを何度も買ってくるようになった。	<input type="checkbox"/> 着替えやお風呂に入るのを嫌がるようになった。
<input type="checkbox"/> お金の管理が心配になった。	<input type="checkbox"/> 家族や介護者に対し、暴言や暴力をふるうようになった。
<input type="checkbox"/> 安全に車を運転できるのが心配になった。	<input type="checkbox"/> 最近、転びやすくなった。
	その他

ご家族(介護者)の今の心境をお聞かせください

- ・最近、特に目が離せなくなってきた。 そう思う まだ大丈夫
- ・最近、特に介護をするのが大変になってきた。 そう思う まだ大丈夫
- ・最近、特に気が休まらない感じがする。 そう思う まだ大丈夫

「もの忘れ相談票」を使った 医療機関・地域包括支援センターとの連携事業（2012年～）



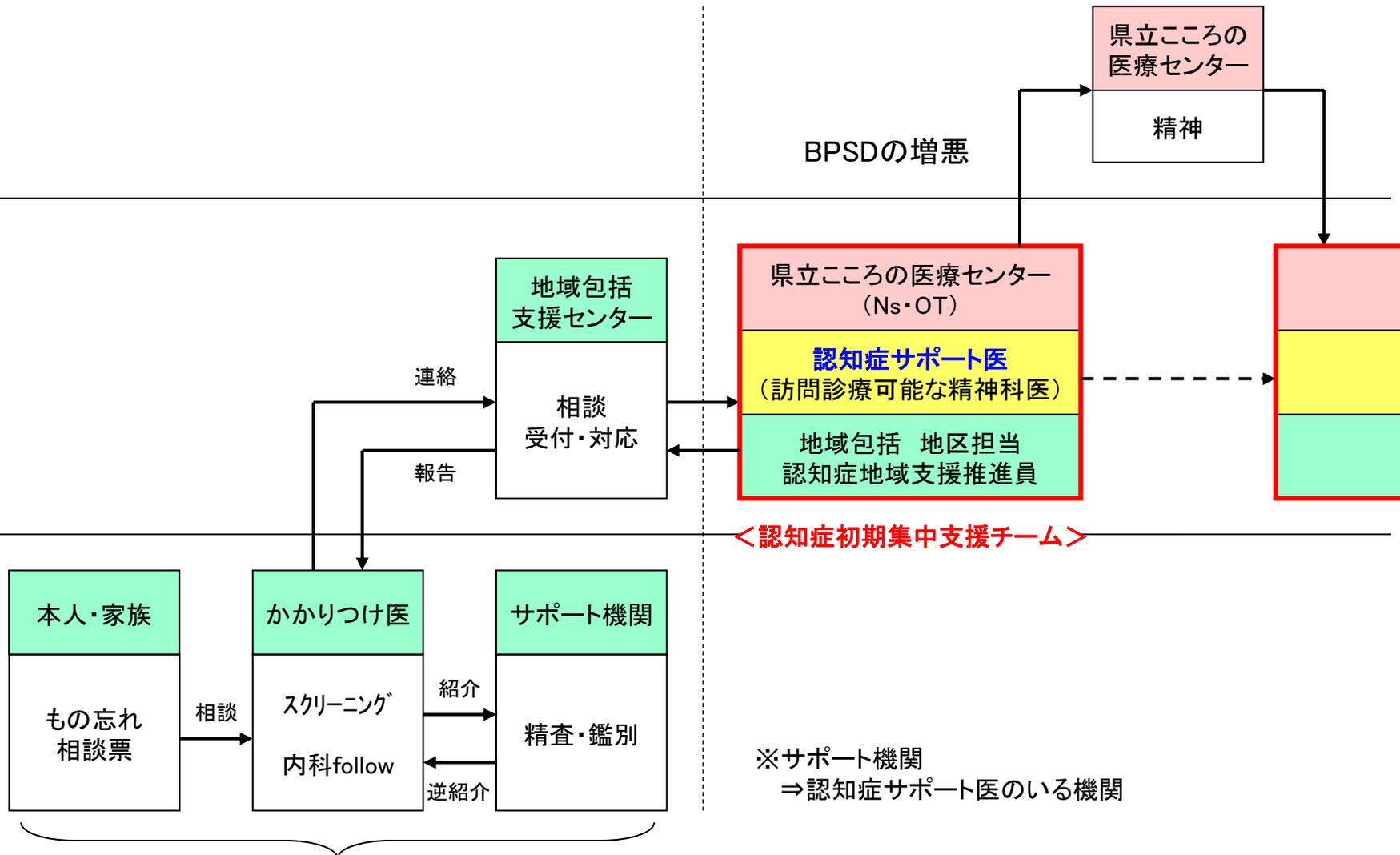
【サポート機関】
認知症サポート医がいる機関

認知症初期集中支援チームの構成と役割

短期入院

早期対応
危機回避

早期診断



「もの忘れ相談票」を使った医療機関・地域包括支援センターとの連携事業

あるケースの「相談記録」(例)

この間、夜にトイレに行こうとして転んだ。もの忘れがひどくて目が離せない。

介護保険の申請で家族が市役所を訪れる

約1年前

今は何とか生活できている。本人も大丈夫とのこと。また「何か」あれば連絡くださいと家族に伝える。

地域包括の地区担当が訪問する

もの忘れが気になる。認知症でないかと心配している。

家族より
TELあり

- ①個別ケースに対する複数の「目」が必要。
- ②支援内容を充実させたい。
- ③経過を追う中でタイムリーな支援につなげた。

認知症の状態に応じたサービス・支援(例)

	認知症の疑い	認知症を有するが日常生活は自立	誰かの見守りがあれば日常生活は自立	日常生活に手助け・介護が必要	常に介護が必要
相談窓口	地域包括支援センター(保健センター内)				
			居宅ケアマネジャー		
医療	かかりつけ医				
			認知症サポート機関 認知症初期集中支援チーム		
介護予防	活動量計をしよう!(こまがね健康ステーション)				
	生きがい・通いの場		短期集中予防サービス		
生活支援	住民参加型生活支援事業「こまちゃん宅福便」				
			配食サービス 高齢者世帯家庭援助員派遣		
介護保険サービス			福祉有償運送		
			訪問看護		
			訪問リハビリ		
			訪問介護		
			通所リハビリ		
			通所介護		
			短期入所 小規模多機能型居宅介護(訪問・通所・宿泊)		
家族支援			語らいの場(認知症カフェ)		
			認知症サポート医との個別相談		
			見守りSOS(メール配信)サービス		
			生活指導短期宿泊事業 緊急宿泊支援事業		
高齢者向け住宅	シルバーハウジング(公営住宅)				
	ケアハウス(軽費老人ホーム)				
	サービス付き高齢者向け住宅・有料老人ホーム				
施設サービス			グループホーム		
			老人保健施設		特別養護老人ホーム
権利を守る	金銭管理・財産保全サービス				
	任意後見制度				
			日常生活自立支援事業 成年後見制度		

平成28年6月1日現在

駒ヶ根市の認知症ケアパス

認知症の状態に応じたサービス・支援(例)をホームページで紹介

こまがね認知症ナビで検索

「認知症初期集中支援チーム」は認知症ケアパスの中で「早期診断・早期対応」に位置付け

平成26年度(2014年)からスタート

こまがね認知症ナビ

◆サービス・支援(例)は、駒ヶ根市のホームページからもご覧いただけます。

こまがね認知症ナビ Q 検索

内容

- 気になる「もの忘れ」の症状
- サービス・支援(例)
- 場所をさがす
- 認知症の人と家族の会 駒ヶ根地区

認知症初期集中支援チーム

対象者と認知症度

	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度 (9月末)	計
I	2	3	6	3	14
II a	5	3	4	3	15
II b	2	4	6	2	14
III a				1	1
III b					0
IV		1		1	2
M				1	1
計	9	11	16	11	47

43名
(91.4%)

認知症初期集中支援チームによる関わり

さんの
初期支援内容

地域包括支援センター
☎81-6695
平日 午前8:30~午後5:15

	1回目	2回目	3回目	4回目	5回目	6回目	7回目	8回目
訪問日	日にち	/	/	/	/	/	/	/
	曜日							
	時間	午前 : 午後						
	場所							
連絡事項								
医療の関わり	かかりつけ医の決定	<input type="checkbox"/>						
	受診方法の決定	<input type="checkbox"/>						
	検査・診断	<input type="checkbox"/>						
お家の整理	お家の整理	<input type="checkbox"/>						
	保管方法の見直し	<input type="checkbox"/>						
	飲み忘れチェック	<input type="checkbox"/>						
	福祉機器の活用	<input type="checkbox"/>						
生活リズム	食事	<input type="checkbox"/>						
	睡眠	<input type="checkbox"/>						
	トイレ	<input type="checkbox"/>						
環境調整	スケジュール管理	<input type="checkbox"/>						
	貴重品管理	<input type="checkbox"/>						
	家事	<input type="checkbox"/>						
	移動	<input type="checkbox"/>						
楽しみ	①	<input type="checkbox"/>						
	②	<input type="checkbox"/>						
家族の関わり	活動量計	<input type="checkbox"/>						
	日記	<input type="checkbox"/>						
今後の方針	<input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 終了							

平成28年度
支援対象者16名

初期支援プログラム

平成28年度
看護師・作業療法士・認知症地域支援推進員
(社会福祉士)等による1人あたりの訪問支援回数
1人 平均 4.25回

支援項目	計
医療へのつなぎ	11
服薬支援	4
生活リズムの立て直し	1
環境調整	3
楽しみ・外出支援	11
家族支援	10

服薬の管理方法の見直し

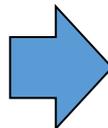


【介入前】

横軸 空欄・昼・夕・寝る前

縦軸 月曜日からスタート

※薬は1日2回(朝・夕)



朝・夕の表示

【介入後】

横軸 月・朝・夕・袋入れ

縦軸 受診日に合わせて木曜日からスタート

曜日の横に日にち追加

認知症初期集中支援チーム

対象者と介護保険の申請状況

		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度 (9月末)
平成26 年度 (9名)	申請	2	4	6	7
	未申請	7	5	3	2
平成27 年度 (11名)	申請		4	8	10
	未申請		7	3	1
平成28 年度 (16名)	申請			0	8
	未申請			16	8
平成29 年度 (11名)	申請				1
	未申請				10

認知症の状態に応じたサービス・支援 (例)

	認知症の疑い	認知症を有するが日常生活は自立	誰かの見守りがあれば日常生活は自立	日常生活に手助け・介護が必要	常に介護が必要
相談窓口	地域包括支援センター (保健センター内)				
		居宅ケアマネジャー			
医療	かかりつけ医				
		認知症サポート機関			
		認知症初期集中支援チーム			
介護予防	活動量計・持とう! (こまがね健康ステーション)				
	生きがい・通いの場				
		短期集中予防サービス			
生活支援	住民参加型生活支援事業「こまちゃん宅福使」				
		配食サービス			
		高齢者世帯家庭援助員派遣			
		福祉有償運送			
介護保険サービス		訪問看護			
		訪問リハビリ			
		訪問介護			
		通所リハビリ			
		通所介護			
		短期入所			
		小規模多機能型居宅介護 (訪問・通所・宿泊)			
家族支援		語らいの場 (認知症カフェ)			
		認知症サポート医との個別相談			
		見守りSOS (メール配信) サービス			
		生活指導短期宿泊事業			
		緊急宿泊支援事業			
高齢者向け住	シルバーハウジング (公営住宅)				
	ケアハウス (軽費老人ホーム)				
	サービス付き高齢者向け住宅・有料老人ホーム				
施設サービス		グループホーム			
		老人保健施設			
		特別養護老人ホーム			
権利を守る	金銭管理・財産保全サービス				
	任意後見制度				
		日常生活自立支援事業			
		成年後見制度			

平成28年6月1日現在

初期支援後の受け皿づくりの大切さ

直営の地域包括支援センターに「認知症地域支援推進員」(社会福祉士)を専任で1名配置(2015年～)

認知症への理解を深める啓発活動

認知症初期集中支援チームによる初期支援後の受け皿づくりに動く

こまがね認知症ナビ

◆サービス・支援(例)は、駒ヶ根市のホームページからご覧いただけます。

こまがね認知症ナビ

検索

内容

- 気になる「もの忘れ」の症状
- サービス・支援 (例)
- 場所をさがす
- 認知症の人と家族の会 駒ヶ根地区

認知症の人と家族の会 駒ヶ根地区

おれんじネット

おれんじネットは、公益社団法人
「認知症の人と家族の会」長野県
支部 駒ヶ根地区の名称

直営の地域包括支援センターに
事務局を置き、認知症の人やご家
族からの相談・支援、市民による
「認知症を知り、地域で支えあう」
活動をサポート
(2015年～)

事務局スタッフ

認知症地域支援推進員 1名

家族の会会員・メイト・サポーター 6名

認知症の人と家族の会 駒ヶ根地区

おれんじネット

みんなが
「ほっと」なる
語らいの場
(認知症カフェ)

家族介護者同士で日頃の思い
をざっくばらんに語り合いま
せんか？

認知症サポート医や専門家との
学びの時間もあります。市内のお店をお借
りして開催しています。

開催時期 年4回

費用 200円



※認知症の人や家族・地域の人が集える
認知症カフェの情報発信もしています。

認知症
サポーター
養成講座

認知症のことを知る学習会
(出前講座)を開催していま
す。ご家族・友人等の少人数の
グループでも大丈夫です。

講座時間 1時間～1時間半程度

講師 市に登録のある「キャラバンメイト」
(研修を受けたボランティア)を派遣
します。

費用 無料



おれんじネットとは

おれんじネットは、公益社
団法人「認知症の人と家族の
会」長野県支部 駒ヶ根地区
の名称です。駒ヶ根市地域包
括支援センターに事務局を置
いています。

お気軽にご相談ください。

認知症
サポート医との
個別相談

認知症サポート医が、ご家族
の不安や心配について、個別
にお話しをお聞きます。

開催日 月2回 第2・4金曜日

時間 予約制

①午後2時～2時45分

②午後3時～3時45分

場所 竜東メンタルクリニック

担当医 下島 秀一 医師

費用 1回 300円



見守り
ネットワーク

住民の皆さんや警察、消防
署、商店、銀行、企業等と協力
して、地域で暮らす認知症の人
を見守るネットワークづくりをす
めています。

見守り SOS (メール配信) サービス

本人またはご家族の同意を得て、行方
不明の心配のある人をあらか
じめ登録しておくことで、
早期の発見・保護につな
がります。

費用 無料



駒ヶ根市 地域包括支援センター (保健センター内)

〒399-4192 駒ヶ根市赤須町20番1号

平日 午前8時30分～午後5時15分

TEL.0265-81-6695 (直通) FAX.0265-83-8590

介護家族とのつながり

- 年4回 通信とチラシ郵送
- 介護家族(約60名)へ
(カフェ・個別相談参加者等)
- 手書きの手紙
(おれんじネットスタッフによる)
- 返信用封筒
- チラシに通信欄

認知症の人と家族の会 駒ヶ根地区 おれんじネット 通信

平成 28 年 10 月

9 月は
『世界アルツハイマー月間』

9月4日のふれあい広場で
認知症啓発リーフレットを
会員と有志で来場された皆
さんに手渡しました。



精神科医
初期集中支援チーム担当
認知症サポート医として、
医療へのつなぎ・調整役と
ともに、家族支援(メンタル
ヘルス)にも関わっている。

ワンポイントアドバイス

ストレスがたまると元気が出な
ったり、体調が悪かったり、イライラ
したり、不安・不眠状態になります。
介護者がこのような状態の時、鏡のよ
うなもので、認知症の方の状態も悪く
なります。介護家族のメンタルヘルス
はとても大切です。



9
を、
認
ス
18
自分



みんなが「ほっと」なる語らいの場
次回 開催予定

平成 28 年 11 月 15 日(火)

◀駒ヶ根市地域包括支援センター▶
おれんじネット 担当 安部・小田切・山西
池上・有馬
〒399-4192 駒ヶ根市赤須町 20 番 1 号
TEL. 81-6695 (直通) FAX. 83-8590

認知症介護者サポート事業

第8回
みんなが「ほっと」なる語らいの場

日時 平成28年 9月9日 金
13時30分～15時30分

会場 アンシャンテ
表紙 11192-1 (小町地区 下市場)
TEL.83-1910

参加費 200円

参加申し込み
参加希望者は、9月5日(月)までに、下記の参加申込書を返信用封筒に入れて投函いただくか、地域包括支援センターまでご連絡ください。
なお、当日会場へ行く足の手配がつかない場合は地域包括支援センターまでご連絡ください。

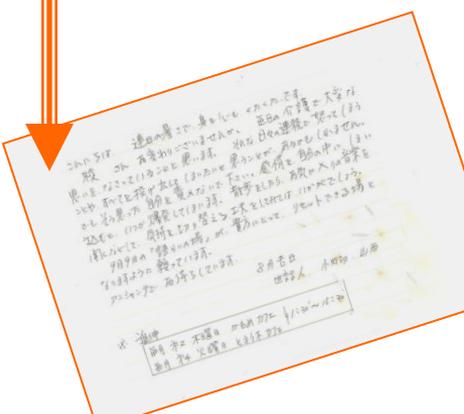
主催・開催先 おれんじネット 駒ヶ根市 地域包括支援センター 担当：安部
TEL.81-6695 (直通) FAX.83-8590

第8回 みんなが「ほっと」なる語らいの場 参加申込書

参加者氏名 _____ (歳)
住 所 _____ 電話番号 _____

●どなたを介護されていますか? ○をつけてください。
配偶者、 実の父母、 義理の父母、 兄弟、 その他()

【通信欄】近況・質問・相談等ご自由にお書きください。(参加されない方もご利用ください)



市内の認知症カフェ

【主催者】

* おれんじネット

(地域包括支援センター)

* おれんじネットボランティア

* 個人

* 介護サービス事業者



駒ヶ根 認知症カフェのご案内

認知症の人・家族・専門職・地域の人、どなたでも気軽集える場です。
じっくり語らえる、楽しく歌える、ほっと一息できる、悩みを相談できる、
思いを共有できる、情報交換できる、認知症について学べるなど、それぞれの
カフェで、雰囲気や内容が違います。足を運んでみませんか？

ボランティアも募集しています。

※開催日時など詳細は、各カフェにお問い合わせください。



名称	場所	日時	参加費	主催・問合せ先
みんなが「ほっと」なる 語らいの場	アンシャンテ 小町屋区 下市場	年4回	200円	おれんじネット 81-6695 地域包括支援センター
かもめカフェ	スナック かもめ 中央27-2	第2木曜日 13:30~15:30	200円	おれんじネット ボランティア部 81-6695 地域包括支援センター
とまり木カフェ	ふれあいセンター 梨の木2-25	第4火曜日 13:30~15:30	100円	地域包括支援センター
し ぶく あん 至 福 庵	黒川宅 福岡区 大原	随時 (事前にお電話 ください。)	100円	至福庵 83-7855(黒川)
かゆ むら きっ さ 亀 群 喫 茶	宅幼老所 亀群 中沢大曾倉	第2土曜日 13:00~16:00	300円	宅幼老所 亀群 87-2317
やまびこ茶屋	竜東やまびこ園 中沢 12076-1	奇数月第3土曜 9:00~12:00	200円	竜東やまびこ園 83-5060



上記のカフェ以外の情報がありましたら、下記へお知らせください。

認知症の人と家族の会 駒ヶ根地区
おれんじネット

駒ヶ根市 地域包括支援センター

〒399-4192 駒ヶ根市赤須町20番1号

TEL 81-6695(直通) FAX83-8590

担当 安部



本人



おれんじネット主催
の認知症カフェ

市内のレストラン
が昼間の空き時間
を提供
事務局サポーター
が運営



家族

高齢者の自動車運転に関する勉強会



とまり木
カフェ



平成29年3月12日
スタート

改正道路交通法が施行されます

要項もご覧ください！

リスクの高い運転者への対策

高齢運転者対策の推進

1. 新設 臨時認知機能検査・臨時高齢者講習

●臨時認知機能検査
改正前は3年に1度の免許更新の更新のときだけ受けるところとされていた認知機能検査について、一定の違反行為があれば、3年を持たずに受けることとなります。

75歳以上の運転者が、認知機能が低下したときに起こしやすい違反行為をしたときは、新たに「臨時認知機能検査」を受けなければなりません。

【一定の違反行為の例】
- 信号無視
- 進行区分違反
- 一時停止等

●臨時高齢者講習
臨時認知機能検査を受け、認知機能の低下が運転に影響するおそれがあると判断された高齢者は、新たに「臨時高齢者講習」(個別指導+実車指導)を受けなければなりません。

一定の違反行為をしたとき

75歳以上

一定の違反行為

新設 臨時認知機能検査
認知機能のおそれ等

新設 臨時高齢者講習
・実車指導(1時間)
・個別指導(1時間)
計2時間
※手数料5,000円

臨時認知検査
又は
診断書提出命令

運転免許証を更新するとき

75歳以上

更新時の認知機能検査

認知機能のおそれ
認知機能の低下のおそれ
認知機能の低下のおそれなし

高齢者講習(高度化)
・実車指導 など
計3時間
※手数料7,500円

高齢者講習(包摂化)
・実車指導 など
計2時間
※手数料4,000円

2. 臨時適性検査制度の見直し

改正前と異なり、認知機能検査で認知機能のおそれがあると判定された方は、適性の有無を問わず、医師の診断を受けることとなります。

更新時の認知機能検査又は臨時認知機能検査で認知機能のおそれがあると判定された方は、臨時適性検査(医師の診断)を受け、又は、命令に従い主治医等の診断書を出さなければなりません。

※医師の診断の結果、認知症と判断された場合は、免許の取り消しの対象となります。

3. 高齢者講習の合理化・高度化

認知機能検査の結果によって受ける講習の内容等が変わります。高齢者講習は、75歳未満の方や、認知機能検査で認知機能の低下のおそれがないと判定された方に対しては従前に合理化(削減)されます。その他の方に対しては、個別指導を含む3時間の講習となります。

駒ヶ根警察署交通課の協力を得て開催

サポーターの活動例（特養の喫茶ボランティア編）



認知症の方が
喫茶ボランティアグループ
「メルヘン」で活動

- 60代女性（認知症）の社会参加
- メンバーへのサポーター養成
講座開催
- 認知症の方のボランティア活動を支援するボランティアの紹介



認知症サポーター ステップアップ講 (全2回)開催 (2017年3月・4月)

86名参加



認知症サポーター

認知症を学び
地域で支えよう



「ステップアップ講座」(全2回)

受講者募集

申込〆切 3月15日

認知症サポーターの皆さん、

「オレンジリングはもらったけど・・・」

「なにが、自分にできることはないかな?」と思いませんか?

自分にできる時間に、自分にできることで、気軽に身近な地域で、楽しく活動しませんか?

認知症について正しい知識を身につけ、認知症になっても安心して暮らせる地域づくりを一緒に進めましょう!

【対象者】・認知症サポーター(養成講座を受講した人)で、今後、おれんじネット事務局にボランティア登録し、地域での支え合い活動を行う意思のある方
・キャラバンメイト(メイト活動(養成講座講師)を継続する意思のある方、又はおれんじネット事務局にボランティア登録し地域での支え合い活動を行う意思のある方)

【受講料】 無 料 (テキスト: 無料配布)

サポーター養成講座を未受講の方は、ご相談ください

【日 時】 第1回 平成29年3月21日(火) 13:00~16:00

講義:「認知症の理解を深める・発症リスクを減らす」講師:下島秀一医師(認知症サポート医)

事例発表:「おれんじネット・サポーターの活動紹介、グループワーク:「仲間づくり」

第2回 平成29年4月11日(火) 13:00~16:00

「駒ヶ根市の進める地域づくり構想(仮題)」 地域保健課

「お互い様の地域づくり、はじめての一步(仮題)」 梶田ひと美さん・事例発表 古谷菓子さん

ワークショップ「地域の宝をみんなで探そう(地域資源マップづくり)」

【会 場】 市役所 南庁舎2階 大会議室

問い合わせ先



キリトリ線

駒ヶ根市 地域包括支援センター 担当:安部
TEL.81-6695(直通) FAX.83-8590

認知症サポーター ステップアップ講座

受講申込書

電話・FAXでも
申し込みできます。

受講者氏名 _____ (歳) 電話番号 _____

住 所 駒ヶ根市 _____ 行政区 (_____)

●いつ、サポーター養成講座を受講されましたか?

()年 月 日

●キャラバンメイトですか?(サポーター養成講座のボランティア講師として登録されている人)

・はい ・いいえ



地域見守りネットワーク事業

『地域の気づき』を 地域包括支援センターへつなぐ

新聞販売・電気・ガス・金融機関・商店・
地域住民・認知症サポーター・民生委員・
介護サービス事業者・地域包括支援センター・
社協・医療機・警察関等とのネットワークづくり

2016年8月

地域見守りネットワーク連絡会
(市内約70事業者に呼びかけ)

チラシ作成・配布

・年1回連絡会

・定期的に事業者を訪問・情報収集
(おれんじネットスタッフ)

★地域見守り活動に関する協定

引き続きネットワーク拡大

駒ヶ根市 見守りネットワーク事業

皆さんの「気づき」をお知らせください。

生活上の異変に早期に気づいて必要な支援につなげたり、孤立死を未然に防ぐためには、住民の皆さんからの情報がとても役に立ちます。
「何か変だな?・大丈夫かな?」と思うことがありましたら、下記の問い合わせ先までご連絡ください。ご連絡いただいた方の個人情報を守られます。

情報提供 TEL・FAX

市窓口

市の窓口	
受付時間	平日 午前 8:30 ~ 午後 5:15 <small>時間外や休日でも対応が必要な場合は、 宿日直 (83-2111) に担当部署をお伝えください。</small>
子どものこと	子ども課 子育て家庭教育係 内線 716
障がい者のこと	福祉課 障がい福祉係 内線 315 ☎ 83-2111(代)
特殊詐欺・消費者被害のこと	環境課 消費生活センター 内線 543
成人・高齢者のこと	地域保健課 (地域包括支援センター) ☎ 81-6695(直)
その他	

➡ 緊急でない場合、裏面の「気づき」連絡票 (FAX) もご活用ください。

緊急時 警察署 110・消防署 119

駒ヶ根市 地域包括支援センター (市役所 地域保健課)
駒ヶ根市赤須町 20 番1号 Tel. 0265-81-6695 (直通) Fax. 0265-83-8590

地域での認知症対策考える

公開講座シンポジウムから

2015年11月3日



安部宏美さん



下島秀一さん



樋掛忠彦さん



杉本幸治さん

榎原 認知症初期集中支援という言葉自体にまだなじみがない中で、駒ヶ根市では全国に先んじて始まっています。市の取り組みの状況は。

杉本 5年前に市の認知症対策の指針となる駒ヶ根市認知症介護ビジョンを作成しました。この中で、認知症を知って地域で支え合うことをテーマに五つの柱を設けて事業を具体化しました。国のモデル事業で設置

梶原 認知症初期集中支援という言葉自体にまだなじみがない中で、駒ヶ根市では全国に先んじて始まっています。市の取り組みの状況は。

杉本 5年前に市の認知症対策の指針となる駒ヶ根市認知症介護ビジョンを作成しました。この中で、認知症を知って地域で支え合うことをテーマに五つの柱を設けて事業を具体化しました。国のモデル事業で設置

梶原 認知症初期集中支援という言葉自体にまだなじみがない中で、駒ヶ根市では全国に先んじて始まっています。市の取り組みの状況は。

杉本 5年前に市の認知症対策の指針となる駒ヶ根市認知症介護ビジョンを作成しました。この中で、認知症を知って地域で支え合うことをテーマに五つの柱を設けて事業を具体化しました。国のモデル事業で設置



座長の埴原秋児さん



オブザーバーの池田修一さん



オブザーバーの天野直一さん

した認知症初期集中支援チームは先行実施期間を含めると既に2年になります。これからも認知症対策をしっかりと進めていきたい。

下島 クリニックの通常業務の傍ら、初期集中支援チームで

の忘れであったり、軽度の認知機能障害ということもあります。悩むよりはきちんとした診断を受けて、必要があれば治療を受け、あるいは予防的な活動指導を受けるために、初期集中支援チームとか、相談できる

か。

安部 駒ヶ根市は認知症サポート医と医師との医療センター、駒ヶ根の看護師・作業療法士、地域包括支援センターがチームを組んで活動しています。相談を受けてから最初の2〜3カ月

下島さん 早期からの関わりが必要
安部さん 相談しやすい関係構築を

杉本さん 初期集中支援チーム設置
樋掛さん 連携の中で協力を進める

池田さん 行政と医者との支え方大事
天野さん 初期支援の意味は大きい

意見を言わせていただき、認知症の方やご家族の方との個別相談も行っていきます。認知症はできるだけ早い時期に関わりを持たせていただくことが大切です。症状があっても相応のもの

窓口を上手に使ってほしい。早めに見立てがつかうことで、ご本人だけでなく、ご家族にとってもメリットがあるはずです。

榎原 初期集中支援では実際にどんなことを行っています

に集中的に関わる「初期支援プログラム」を実施し、医療機関への受診、服薬支援、活動・外出支援、活動量向上の4点を重点に取り組んでいます。家族介護者支援も大切だと考えていま

出席者

〈パネリスト〉

認知症サポート医
竜東メンタルクリニック院長

下島 秀一さん

認知症の人と家族の会
長野県支部駒ヶ根地区

安部 宏美さん

駒ヶ根市長

杉本 幸治さん

県立こころの医療センター駒ヶ根院長

信大と「連携大学院」構想

県立こころの医療センター駒ヶ根

認知症分野の人材育成へ

県立こころの医療センター駒ヶ根（駒ヶ根市）の種掛恭彦院長は3日、同市で開催した公開講座で、認知症の専門医不足等への対応策として、信州大学大学院との連携大学院を設置する構想を明らかにした。同病院の第2期中期計画（2015〜19年度）で柱に据える精神科研修・研究センターの開設に連動させ、専門分野の人材を育成する方針で、連携に向けて大学側と調整を進めている。（倉田高志）

今後さらに増加することが専門医療について、さらに人
予想される認知症患者に対応 材育成、研究を行う」と述べ
するために、同病院として

研究や大学教員と病院看護師
の職員交換研修・実習なども
盛り込んでいる。
研修・研究センターの開設
と信大大学院との連携大学院
構想について、公開講座に
シブジストとして同席した杉
本幸治駒ヶ根市長は「新たな
研究拠点となっていたけれ

は駒ヶ根市の魅力も高まる」と期待した。
駒ヶ根の認知症
支援事業を紹介
市文化会館で公開講座
県立こころの医療センター
駒ヶ根と駒ヶ根市は3日、公
開講座「これからの地域にお
ける認知症対策について」認
知症の診断から臨床への架け
橋を市文化会館で開いた。
認知症への理解を広げるため

に専門家が講演し、同市が国
のモデル事業で行っている認
知症初期集中支援チームや家
族支援の取り組みを紹介し
た。
特別講演では信州大学医学
部長の池田修一さんが認知症
医療の最前線を解説。若年性
認知症にも触れた。認知症の
臨床問題を語った前信大病院
長で岡谷市民病院院長の天野
直二さんは地域での認知症高
齢者の支援モデルを示し、連

認知症問題を大きなテーマに
位置付ける計画。専門医の養
成について種掛院長は「認知
症サポート医を養成する方法
もあるが、より専門的な診
断治療ができることが大事
で、精神科の臨床研修・研究
センターを設置し、この分野
を強くして、人材を確保し
ていく。将来的には信州大学
との連携大学院構想があり、
開設を予定している研修・

研究センターでは、研修機能
として県看護大学（駒ヶ根
市）との連携による看護等の

構想では、連携大学院の開
設により人材育成とともに▽
入、行動・心理症状の緩和の
精神疾患（うつ・依存症）の
診断・治療・予防方法▽多職
種チームによるアプローチ手
法▽児童の精神疾患（発達障
がい等）の診断と治療など
を研究するとした。

構想では、連携大学院の開
設により人材育成とともに▽
入、行動・心理症状の緩和の
精神疾患（うつ・依存症）の
診断・治療・予防方法▽多職
種チームによるアプローチ手
法▽児童の精神疾患（発達障
がい等）の診断と治療など
を研究するとした。

構想では、連携大学院の開
設により人材育成とともに▽
入、行動・心理症状の緩和の
精神疾患（うつ・依存症）の
診断・治療・予防方法▽多職
種チームによるアプローチ手
法▽児童の精神疾患（発達障
がい等）の診断と治療など
を研究するとした。

県立こころの医療センター 駒ヶ根



長野日報

認知症の早期対応・危機回避支援を目的に、
看護師・作業療法士による訪問支援
（認知症初期集中支援チーム）が平成26年度
（2014年）からスタート。

平成28年度（2016年）に埴原秋児医師が着任

2016年10月 認知症専門外来開設
2017年 4月 「精神科研修・研究センター」開設



約500人が聴講した公開講座

まとめ

- 駒ヶ根市認知症介護ビジョン(2010年～)を機に、駒ヶ根市の認知症施策の具体化が始まった。
- 複数の「目」による支援の充実、地域資源の開拓(開発)を目的に、「認知症初期集中支援チーム」と「認知症地域支援推進員」の配置を行った。
- 認知症の人とその家族を、「この地域で支えていこう！」と語った医師の言葉が印象に残る。
- 地域力を活かした「地域包括ケアシステム」の実現に向け現在、「第7期介護保険事業計画」の策定をすすめている。